



ななてい

発行
第7偵察隊
OB会

第三十一代 第七偵察隊長
2等陸佐 加賀谷 岳彦 着任

隊は、令和七年三月十七日、時折冷たい風雪が吹き付ける中、第七偵察隊長加賀谷岳彦二等陸佐の着任式を挙行しました。部隊指揮官、副隊長金丸三佐の指揮のもと、陸上自衛隊唯一の機甲偵察隊である第七偵察隊の精強性を誇示しました。



「副団長よりご紹介を賜る加賀谷二佐」



「着任式の様子」

「部隊を巡視する加賀谷二佐」

風雪が吹き荒れる中での観閲行進



令和七年三月十七日、風雪の吹き荒れる天候の中、観閲行進は実施されました。しかしながら、いかなる状況下にあっても遺憾なく精強性を発揮する、「精強第七偵察隊」を加賀谷二佐にご確認いただきました。

お帰りなさい、同士 そして、ようこそ第七偵察隊へ

隊は、令和六年度後期定期異動に伴い、八名の新たな偵友を迎えました。
初年度には、隊集中訓練が計画されており、各々の配置先での練成訓練で、徐々に七偵での勤務に慣れていただきたいと思えます。



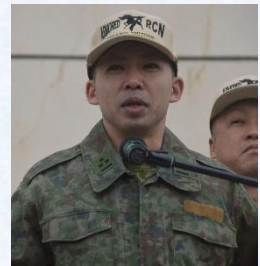
「ハルク小鹿」
一等陸曹 小鹿 勝之



「定年まであと一年」
一等陸曹 高部 祐介



「お帰り軍曹」
陸曹長 菊池 嘉人



「お帰りロドリゲス」
一等陸尉 高橋 大樹



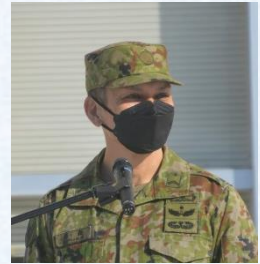
「レンジャット」
三等陸曹 中澤 勇樹



「私、幹部目指します」
陸曹長 高橋 一成



「ようこそ七偵へ」
二等陸曹 濱邊 圭佑



「日本語ワカリマセン」
二等陸曹 近森 一成

第七偵察隊 OB 城畑様・村上様へ感謝状を贈呈



「感謝状贈呈式の様子」



「七偵今昔物語を語ってくれた村上様。現職への期待は大きい」

隊は、令和七年二月二十八日、第七偵察隊OB会村上雅行様へ、七偵OB会でのご功労と、これまでの第七偵察隊へのご厚意とご理解ご協力で感謝の意を込めて、第七偵察隊長古井二佐より感謝状を贈呈いたしました。



「感謝状贈呈式の様子」



「現在の識別帽を被る城畑様」

隊は、令和六年十二月二十二日、第七偵察隊OB会城畑壽様へ、七偵OB会でのご功労と、これまでの第七偵察隊へのご厚意とご理解ご協力で感謝の意を込めて、第七偵察隊長古井二佐より感謝状を贈呈いたしました。

第30代 第七偵察隊長 古井2佐 離任式



古井二佐は、令和五年三月着任以来「主役になれ」「敬」「家族を大切に」を要望事項に掲げ第七偵察の精強化に尽力されました。特に小銃プロジェクトチームを立ち上げ、小銃分隊の射撃技術向上を図った他、隊として射撃実施基準を策定させる等、小銃のみならず装備火器の射撃練度を大きく向上させました。

この度の異動で第四師団司令部に第二部長として御栄転され第四師団情報部隊の精強化に邁進されることと思ひます。

古井二佐の今後益々のご活躍とご健勝を七偵一同、心からお祈り申し上げます。



転出行事及び偵友を送る夕べ 偵友の皆さん、七偵勤務大変お疲れ様でした



「転出者申告の様子」

隊は、令和七年三月十三日、令和六年度後期定期異動に伴う転出行事を行いました。

副隊長小野三佐をはじめ、今や七偵において必要戦力である十名の隊員を惜しみつつも、隊歌を斉唱して華々しく偵友を送りました。



また、その前日三月十日に、偵友を送る夕べを実施し、末吉曹長及び藤原二曹による余興及び七偵メモリアルを放映して会場は大いに盛り上がり、最後は先任上級曹長木村准尉の万歳三唱で締め、偵友を盛大に送りました。



「木村准尉による万歳三唱」



「余興を楽しむ小野三佐」



「会場を沸かせた末吉曹長と藤原二曹」



第二戦闘偵察小隊訓練検閲 あらゆる事態に対応し任務完遂

隊は、令和七年二月十八日から二月二十八日の間、北大演島松地区及び恵庭地区において、第二戦闘偵察小隊の冬季訓練検閲を実施しました。

第二戦闘偵察小隊長である南二尉は、本検閲受閲にあたり、小隊練成訓練及び分隊レベルでの訓練や資材等の準備を実施して万全の態勢で、検閲に臨みま



敵戦車大隊撃破の任務を有する第二戦闘偵察小隊は、当初、小隊命令を下達後、示された地域まで行進を実施し、集結地へ前進。その後、集結地において、攻撃準備を行いつつ、警戒自衛戦闘を実施しました。

この間、対空警戒、彼我不明の不審者対処、ゲリラ活動による対処及び化学攻撃対処等、様々な事態に対応しました。

後段は、先遣戦車大隊を撃破すべく、第二戦闘偵察小隊は攻撃前進を開始し、戦闘団の攻撃に大きく貢献し、任務を完遂しました。



「立ち木等で身を隠し警戒」



「ゲリラを拘束し、連行」



「集結地の警戒を実施中の隊員」



「作戦会議の様子」



「敵の化学攻撃に対応」



冬季検閲を受閲して第二戦闘偵察小隊 二等陸尉 南 憲明

令和六年度の小隊訓練検閲を、第三次師団訓練検閲に接続し、令和七年二月十八日から二十三日の六日間にわたり、北大演島において検閲を受閲しました。

今年度の小隊検閲は冬季という事もあり、厳しい積雪及び寒冷下での各種戦術行動を実施することが重要であり、受閲に先立ち昨年未から、小隊陸曹及び各分隊長が逐次各種資材の準備、創意工夫資材の作成等を推進するとともに、隊員各個については、積雪寒冷下における行動に必要な個人装備の準備についても指導助言等を行い、万全の態勢で受閲することが出来ました。

特に、第二戦闘偵察小隊は、入隊二年未満の隊員、道外出身者及び初の冬季検閲受閲となる隊員が複数名在籍しており、「与えられた任務を完遂できるか」非常に不安でしたが、本検閲を乗り切ることが出来たのは小隊の全隊員の協力があったからこそと強く感じました。

今後とも二小隊は一致団結し、精強な部隊を作り上げ、日々精進していきたいと思えます。

空中偵察班及び衛生班の訓練検閲

「班冬季検閲を受閲して」
空偵副班長

一等陸曹 宮崎 聖次

令和七年二月十八日から二十三日の間、第三次小隊班訓練検閲を受閲しました。

当初は段列地域に被拘束者収容所及び安置所をアイスクリートで全周を囲んで築城し、段列地域の警戒を行いました。

後段は第二戦闘偵察小隊が攻撃開始する前日から偵察を開始して情報収集を実施し、戦闘が開始してから二小隊長と情報を共有しながら連携を図り、任務を完遂しました。

今後も隊直轄の班として、あらゆる任務に対応していきたいと思えます。



「被拘束者収容所及び安置所に対空処置として偽装網を展張」



「傷病者に対し第一線救護を実施する衛生班」



「救護所をアイスクリートで囲い、暴風雪に対応」

「班冬季検閲を受閲して」

衛生班長

一等陸曹 板垣 敏英

当初5人での班検閲受閲予定だったが、人数が減り3人での受閲となりました。

衛生班長に上番して3ヶ月、また前例のない検閲の為、何も分からず、付隊長にアドバイスをいただきました。つ、班員に助けてもらうことで、何とか検閲を乗り切ることができました。

今検閲において、部隊を指揮する難しさを再度思い知りました。

今後、衛生班長としてやるべきこと及び、衛生班として行動すべきことを引続き練成していきたいと思えます。



空偵班及び衛生班の班検閲受閲に併せて付隊訓練を実施

付隊は、令和七年二月十八日から二十三日の間、第四次師団訓練検閲の場を活用して、空中偵察班及び衛生班の冬季訓練検閲に併せて、冬季付隊訓練を実施しました。

本部付隊長の五十嵐一尉は、冬季の特性を考慮して付隊本部の指揮所、患者収容所及び被拘束者収容所等の雪害防止の処置としてアイスクリートの作成設置を実施させ、平行して集結地における警戒、各種急事態対処を演練させる等、冬季において必要な各隊員の基礎的な行動を演練しました。

「負傷した隊員を搬送する付隊隊員」



「アイスクリート作成し、雪害を防止」



「冬季付隊訓練を終えて」
本部付隊長
一等陸尉 五十嵐 一喜

二月十八日から二十三日までの間、第二戦闘偵察小隊検閲に併せて冬季付隊訓練を実施した。

本訓練は、令和八年度の冬季隊検閲受閲に向けた基礎の確立を目的として、積雪状況時の安全化、積雪を利用した築城、特にアイスクリートを使用した築城を実施し、築城に関する作業隊力、作製要領について資を得るとともに、冬季における段列行動の練度向上を図った。

最低気温がマイナス十五度を下回る中、真摯に訓練に臨む付隊隊員の姿を見て、上番以来、各種状況に応じた段列行動が実施できるところと訓練を重ねてきた成果を切実に感じた次第である。

令和七年度も更なる練度向上を図るべく計画的かつ効率的な訓練実施を着眼として各種状況に応じて行動できる慧敏な隊員育成を目指して行きたいと思えます。



令和六年度 銃剣道訓練隊



「通年で訓練隊を見てきた吉田二曹」

令和六年度銃剣道訓練隊は、隊の業務の忙しい中、隊に時間を頂き、静内及び幌別転地訓練を実施し、訓練隊の練習メニューを固定し、全員に練習内容を理解させて、練習に励むところから始めました。

他部隊との試合稽古を通じて、「負けて悔しい、強くなりたい」を個々に感じてもらい、千歳銃剣道選手権大会、機甲職種銃剣道大会及び北海道銃剣道選手権大会においては良い成果を挙げられました。

特に年度を通しての練習を実施したことにより、陸士の成長がとて大きく、今後の訓練隊の練習においても隊の理解を貫つて今後も実施していきたいと思えます。

令和七年度も勝負心及び闘争心を養って七偵の看板を背負い、伝統の継承を胸にし、練成していきたいと思えます。

「令和六年度銃剣道訓練隊を振り返り」
二等陸曹 吉田 直人

青年Aチーム決勝トーナメントで惜しくも敗退



千歳銃剣道選手権大会においては、七偵から青年A、B、Cの三個チームが参加しました。青年B、Cについては予選ブロックで敗退しましたが、青年Aは第一地对艦ミサイル連隊Cと対戦し、三勝0敗で勝利。続いて第七特科連隊と対戦し、二勝一敗で勝利して予選リーグを突破しました。



決勝トーナメント進出を決めた青年Aでありました。が、第十一普通科連隊Aと対戦し、0勝三敗で敗退しました。

成年の部についても、二個部隊に勝利し、決勝トーナメントに進出することが出来ましたが、一回戦に第一地对艦ミサイル連隊と対戦し、大将戦まで持ち越しましたが、惜しくも二勝三敗で敗退してしまいました。

陸士の部において優勝の成果を収めた機甲職種大会



陸曹の部予選リーグで第二戦車連隊に三勝二敗で勝利し、二回戦で第一偵察戦闘大隊と対戦し、二勝三敗で負けましたが、勝利数により決勝リーグへ進出することができ、トーナメント一回戦で機甲教導連隊Aに敗退し、ベストエイトの結果をおさめました。

また陸士の部では三名一チームで臨み、各機甲科部隊と対戦し先方及び大将が全勝で決勝まで進み、第二戦車連隊と対戦。二対一で勝利し優勝をおさめました。



北海道銃剣道選手権大会 攻めの姿勢で試合に挑む

成年第三部では、一回戦で第二通信大隊と試合をし、三勝をおさめ一回戦を突破しました。

続く二回戦、第二施設大隊Aと対戦し、一勝四敗で敗退する結果となりました。

青年第一部では一回戦、第一地对艦ミサイル連隊と対戦し、三勝二敗で七偵が勝利をおさめ、二回戦で第二施設大隊と対戦し、二勝三敗で敗退しました。

青年第二部は一回戦、二十五普通連と対戦し、三敗で敗退しました。

また、北海道選抜において七偵初の女性の部で荒井士長が参加をし、健闘してました。



残雪残る射場で初年度射撃実施 諸元を掌握して次の射撃へ繋げる

隊は、令和七年四月一日、初年度最初の偵察警戒車射撃を実施しました。

初年度最初の射撃という事もあり、車長要員については迅速果敢な射撃指揮及び迅速正確な平均弾着点の把握を演練、砲手については迅速正確な操砲と平均弾着の観測修正を演練し、近遠目標に対する停止射撃及び、移動目標に対する停止射撃を実施しました。

また、幹部候補生の澤田曹長が車長及び砲手の動作について演練、砲手の動作について陸曹候補生の陸士が演練する等、今後の射撃練度の向上を目的として訓練を実施しました。



「初度射撃を視察する加賀谷二佐」



「弾着観測及び記録を行う小鹿一曹」



新たな補職で射撃訓練 集成迫撃砲小隊の基盤を固める

隊は、令和七年四月七日、初年度最初の八十一ミリ迫撃砲射撃を実施しました。

今射撃については、補職換えに伴う各機能の連携強化を目的として迫撃砲分隊としての射撃練度向上を図るとともに、射撃指揮班は正確迅速な射撃諸元の算定及び射撃命令の発出、射撃分隊については命令号令に応ずる正確迅速な連携動作。FO要員については正確な射撃要求及び迅速な弾着判定修正を演練しました。

今年度も迫撃砲分隊として予習及び射撃訓練を実施して、練度向上を図ります。



「発射準備のため弾薬を装填する奥土長」



「諸元想定を実施中の様子」



「正確・迅速な連携動作を練成」



砲手要員に対する初年度射撃を実施 各砲手の射撃練度を確認

隊は、令和七年四月七日及び八日北大演第一戦車射撃において、八十四ミリ無反動砲(以下八四RR)及び個人携帯対戦車弾(以下LAM)射撃を実施して、射撃技術の練度向上を図りました。

当初七日については、八四RRの縮射射撃を実施して、正確な照準撃発、射弾の観測修正及び装填手との協同連携を演練しました。

また、LAMについても砲手要員に対して縮射射撃を実施して、射撃練度の向上を図りました。

また八日については、八四RRの実弾射撃を実施して、弾種に応じた確実な測合要領を演練しました。



「後方を確認」



「後方確認」



「発煙弾の効果」



「後方爆風」



通信班・衛生班交叉訓練



通信班による交叉訓練

通信班は、令和七年四月一日、陸士隊員を主体に課目「通信」の交叉訓練を実施しました。

近年、若年陸士でも様々な任務を付与される事から、基礎的な無線の通話法及び高利得空中線の設置要領を演練し、じ後の訓練に必要な知識と技能を概ね修得するよう教育を実施しました。



衛生班による交叉訓練

衛生班は、令和七年四月二日、各小隊の隊員に対し、第一線救護における担架搬送及び救急車への積載訓練を実施しました。

当初は空身で傷病者の積載訓練し、じ後、実人員を担架に乗せて演練しました。

訓練参加者は、担架搬送及び積載の大変さを知る良い訓練となりました。



第一回隊集中訓練 各所掌の基礎を固めるための小隊等練成、射撃訓練を実施



「訓練を視察する加賀谷2佐」



隊は、令和七年四月一日から四月二十一日までの間、第一回隊集中訓練を実施した。

本訓練は小隊練成訓練、グループ訓練及び交差訓練を実施して、偵察能力及び射撃能力の練度向上を図りました。

また、定期異動者及び若年隊員を練成して、早期戦力化を図りました。



「装軌車操縦訓練」



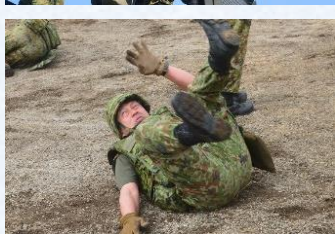
「運行前点検の様子」



「レ一夕訓練の様子」



「TK縮射射撃」



「拘束連行訓練」



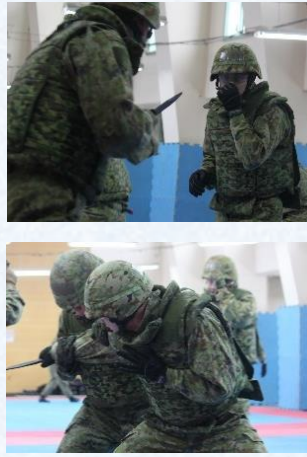
「兵候訓練」



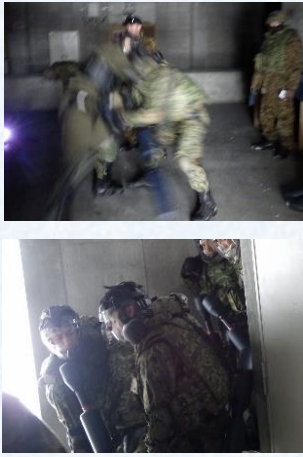
令和六年度格闘指導官に 二名の隊員が指導官認定

令和七年一月二十日から三月十四日までの間、令和六年度格闘指導官養成訓練に隊から田村三曹及び佐藤三曹が参加をしました。
両名は長く厳しい養成訓練を経て、最新の近接戦闘を修得し、格闘指導官に認定されました。

「体力気力共に削られる養成訓練」



「総合訓練での様子」



「指導官田村三曹(上)と佐藤三曹」



令和六年度 スキー指導官養成訓練 二名の指導官が認定

令和七年二月十八日から三月四日の間、令和六年度スキー指導官養成訓練に、隊から二名の隊員が参加しました。
過酷な環境下での訓練を経て、指導官に必要なスキー技術と知識を習得し、スキー指導官として認定されました。



「日高国際での一コマ」



「疲労の蓄積で転倒の場面も」



「流割三曹(上)と佐々木三曹」



通信班先任陸曹 野中曹長定年退職 ご家族からの祝福に胸も熱く

通信班野中曹長は、令和七年二月四日、約三十八年の自衛官としての職責を全うされ、この度、第七偵察隊で定年退官されました。
また、遠く静岡からご家族も定年退官式にご参加され、ご家族から花束贈呈と感謝の言葉を贈られる場面もあり、心温まる家族愛に隊員一同胸が熱くなりました。

また、通信班江澤二曹が万歳三唱の音頭をとり、野中曹長とご家族の御多幸と御健勝を祈念し、偵察隊一同盛大に送りました。
最後に、永きにわたる自衛隊勤務、大変お疲れ様でした。



「偵教☆野中Tシャツ」



「七年間勤務を共にした仲間達と」



「ご家族での集合写真」

それぞれ第二の人生へ 自衛隊勤務、お疲れ様でした

人にはそれぞれの人生があり、目標があります。勤務の長短はありましたが、自衛官を辞し、新しい目標に向かって進むこととなった隊員がおります。
我ら第七偵察隊員は、新しい目標へ進む方々に敬意を表し、誠意をもって送り出しました。
今後の皆様方のご活躍とご健勝を祈念申し上げます。自衛隊勤務、お疲れ様でした。



令和七年二月二十八日付
「陸曹長 山川 勇 退職」



令和七年三月二十六日付 任期満了退職
「陸士長 今川 誠(左) 平田 凜太郎(右)」



令和七年三月二十七日付
「陸士長 高橋 悠貴 退職」



明治安田生命



苫小牧支社

千歳営業所

岸田 玲美奈



明治安田生命保険相互会社

〒066-0064 千歳市錦町2-10-2
TEL:0123-23-2313 会社携帯:080-8603-6971
FAX:0123-23-1952
会社E-mail:remina.gotouda0211@ad.meijiyasuda.co.jp
損害保険もお取り扱いいたします

明治安田生命はJPGAを認めています



日本生命保険相互会社

札幌支社 千歳中央営業部



栗野 由美子

〒066-0062
千歳市千代田町6-2-3
日本生命千歳駅前ビル2階
TEL:0123-23-9166
携帯:070-2475-4900



↑ご連絡はこちらから

七偵察担当として皆様のお役に立てるよう頑張ります!

001-20-287

BESTパートナー 大樹生命

日本生命グループ

苫小牧支社
千歳恵庭営業部

組織長

西谷 幸子

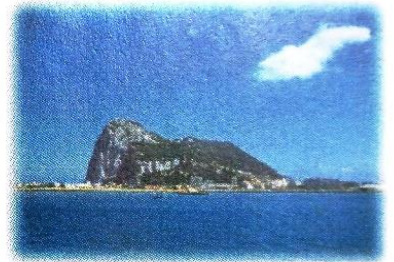


大樹生命保険株式会社

(三井住友海上火災保険株式会社 代理店)

〒066-0077 千歳市上長都1117-2 北海道パナホームビル3階
電話:0123-23-3258 FAX:0123-22-4685
E-mail:sachiko_nishiya@taiju-life.co.jp

ジブラルタ生命は、
お客さま一人ひとりを大切に
心に届くサービスを
ご提供いたします



ジブラルタ生命保険株式会社

札幌東支社 千歳第一営業所

〒066-0009 北海道千歳市柏台南1-3-1

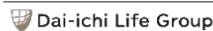
千歳アルカディア・プラザ 3F TEL:0123-22-6813

第一生命株式会社

一生涯のパートナー

第一生命

札幌総合支社 札幌コンタクト営業室
千歳第一オフィス



秋山 千雛

ご加入の生命保険に関する照会は
コレクトセンター 0120-167167
でも承っております

〒066-0062

千歳市千代田町4-14 千歳第一ビルディング 5F

TEL:050-3782-0304 FAX:0123-23-1928

※お問い合わせの際は「050」からおかけ下さい

携帯:070-3055-1053

生涯設計デザイナー1級



※担当 左)中島 綾乃 右)中村 美樹



保険のご相談は私たちに任せください

富国生命保険相互会社 札幌支社 恵庭第一営業所
〒061-1424 恵庭市大町3丁目2-4 ☎0123-33-9410

「ハロキティ」は、フコク生命のイメージキャラクターです。 ☎0123-0165 (2025.4.1)

人と人の間に
フコク生命
THE MUTUAL

毎日のことから 栄養・バランス をご提案します。

フレッシュランチ39

札幌店



TEL 011-871-7900

FAX 011-871-7901



じゅんかんコンビニ24

じゅんかんコンビニ24は、不用になった資源物を回収する無人施設です。
ご不用になった資源物を持ち込んでいただくことで
資源物の種類と重量に応じて「リサイクル貢献度」が貯まり
アンケートに回答いただくことで商品券がもらえちゃう便利でお得なサービスです。



回収品目	古紙	金属製品	アルミ缶	ペットボトル
	小型家電	パソコン	携帯電話	古布・繊維類

■千歳北陽店 千歳市北陽5丁目1-1
■千歳みどり台店 千歳市みどり台北4丁目2-8
■恵庭店 恵庭市黄金南5丁目9-15
詳しい回収品目やご利用方法については Webをご覧ください。

じゅんかんコンビニ24 検索

☆本人・ご家族 割引あり!

お問い合わせ・お申込み

☆大型特殊通常料金
(限定解除含む)
特別割引あり!
北海道公安委員会指定

全ふじやグループ

千歳自動車学校

066-0045

千歳市真々地2丁目5-2号

TEL0123-23-3213

FAX 23-3535

<http://chitose-ds.co.jp/>

担当: 玉腰・戸塚



王子ゴルフガーデン苫小牧

OJI GOLF GARDEN TOMAKOMAI

苫小牧市柳町2丁目5番10号

(苫小牧イオン内)

TEL: 0144-55-5454 FAX: 0144-55-9288

期間	営業時間	毎月「王子の日」等各種イベント開催中! 詳しくはお問合せ下さい。
4月~10月	8:00~22:00	マネージャー 佐藤 友彦 / スタッフ 永瀬 光信(7億00)
3月~11月	8:00~21:00	
12月~2月	9:00~21:00	王子不動産株式会社 北海道支店
早稲営業 (4月~11月)	6:00~8:00	



王子不動産株式会社
北海道支店

防衛省 職員 家族 団体 傷害 保険
 <総合賠償型・親介護補償型(特約オプション)>
 <団体長期障害所得補償保険「長期所得安心くん」略称:GLTD>

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 共済組合 がん 保険
 団体取扱

<お見積・資料請求 <http://webby.afac.co.jp/bouei/>>

防衛省 共済組合 火災 保険
 団体取扱

☆ その他各種の損害保険
 【取扱代理店】 弘済企業株式会社
 詳しくは、下記の東千歳駐屯地保険常駐員にご相談ください。
 東千歳駐屯地東厚生センター (内線4766)
 渡辺・奥山・高橋・清水まで

株式会社マリアージュインベルコ千歳支社
 ベルククラシックリアン平安閣

御婚礼・成人式着物・各種ご宴会・御法要等承っております
 千歳市錦町4丁目9番地 TEL 0123-26-1163 (担当: 関)

THE BELLCLASS Lien HEIANKAKU

「隊員募集への協力について」

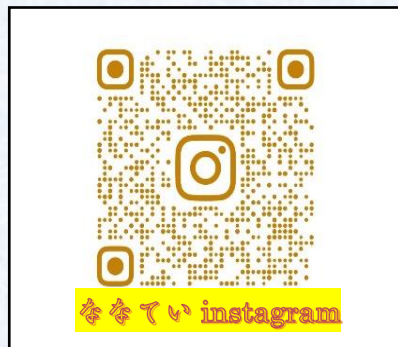
令和六年度、陸上自衛隊北部方面隊では、自衛官候補生及び曹候補生を始め、防大、生徒等の募集に日々努力をしておりますが、今般の募集状況は非常に厳しい状況にあります。

将来にわたる平和を維持するため、第一線部隊や隊員も「自主募集」に強く取り組む必要性を痛感しております。

ご家族、OBの皆様、隊員のご友人等で、「自衛官」という職業に興味がある方をご存じでいらっしゃいましたら、ご連絡をお願い致します。(0123-23-5131 内線2681岩浪1曹まで)



ななてい「X」



ななてい instagram



閲覧数50000人越え
フォロワー数1000を突破しました!!
ご友人やご親戚、ご近所の方にぜひ、「ななてい」SNSのご紹介をお願いします。
閲覧後は「フォロー又はいいね」をお願いします。

編集後記

冬の寒さも緩み北海道にもようやく春が訪れました。七偵は、三月十七日付をもちまして、第三十一代第七偵察隊長に加賀谷武彦二等陸佐が就任しました。

これから徐々に訓練と射撃で忙しい日々が増えてきますが、第七偵察隊は加賀谷二佐を核心として、あらゆる任務にも対応できる精強な部隊を目指し、訓練に邁進していきます。

皆様におかれましても、気候の変化で体調を崩さぬようお過ごし下さい。

広報陸曹 梶 恭輔

各種訓練等を、「ななてい」Twitter「X」「ななてい」Instagramにてアップしてまいりますので、閲覧・登録をよろしく申し上げます。今後も変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

北海道千歳市祝梅1016
第七偵察隊

0123-23-5131
(内線2681)

